

TD-M1

WIRELESS SPEAKER SYSTEM

取扱説明書 **JAPANESE**

このたびは、本製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

ご使用になる前に「安全上のご注意とアフターサービスについて」を必ずお読みください。

もくじ

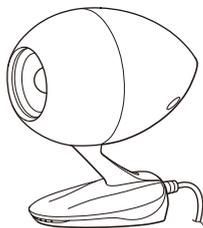
同梱品	2	USB/AUX で聞く	16
端子について	3	USB (A タイプ) の接続・再生	16
システムの準備	4	USB (B タイプ) の接続・再生	16
スピーカーの角度調整について	4	■再生可能フォーマット	16
グリルの取り付けについて	4	■ Mac の場合	16
電源の接続について	4	■ Windows® PC の場合	17
再生デバイスと接続方法	5	▶ Windows® 7, Windows® 8	18
Wi-Fi (ワイヤレス) 再生について	6	▶ Windows® XP	18
ルーターモード (推奨)	6	AUX の接続・再生	19
ダイレクトモード	6	設定画面 (TD-M1 Network Audio Device Settings) の開き方	20
操作方法	7	■ Mac で Safari ブラウザを使う場合	20
インジケータ (中央) の表示	7	■ Windows® 7, Windows® 8 の ネットワークを使う場合	20
電源の ON/OFF	7	■ Windows® XP の マイネットワークを使う場合	21
ネットワークスタンバイ	7	■ iOS デバイス /Android デバイスを 使う場合	21
オートスタンバイ機能	7	ネットワークの設定の確認・変更	22
オートパワー機能	7	▶ 機器情報画面	22
音量調整	8	▶ ネットワーク設定画面	23
ソースの切り替え	8	ソフトウェアのアップデート	24
Wi-Fi (ワイヤレス) 再生の 接続モードの切り替え	8	リセット方法	25
AirPlay で聞く	9	お手入れ方法	25
接続する	9	トラブルシューティング	25
■ダイレクトモードで接続する	9	商標	25
■ルーターモードで接続する	9	仕様	26
再生する	11	▶ 本体	26
■ iOS デバイスの場合	11	▶ AC アダプタ	26
■ iTunes の場合	11	ライセンス	27
Android デバイスで聞く	12	▶ FLAC Decoder	27
Android アプリのインストール	12	▶ Ogg/Vorbis Decoder	27
接続する	12		
■ダイレクトモードで接続する	12		
■ルーターモードで接続する	13		
再生する	14		
■再生可能フォーマット	15		

音のエチケット

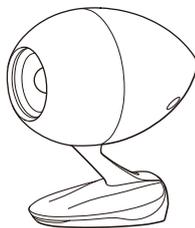
- ・楽しい音楽も場所によっては気になるものです。ご近所のご迷惑にならないよう、適度な音量でお楽しみください。
- ・特に、夜間などは小さな音量でも周囲にはよく通るものです。お互いに心を配り、快適な生活環境を守りましょう。

同梱品

お使いになる前に同梱品が揃っているか確認してください。



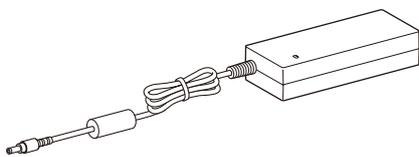
① 右スピーカー (Rch) ×1



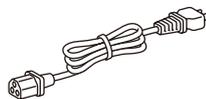
② 左スピーカー (Lch) ×1



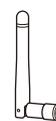
③ グリル ×2



④ AC アダプタ ×1



⑤ 電源ケーブル ×1



⑥ Wi-Fi® アンテナ ×1



⑦ クイックガイド ×1



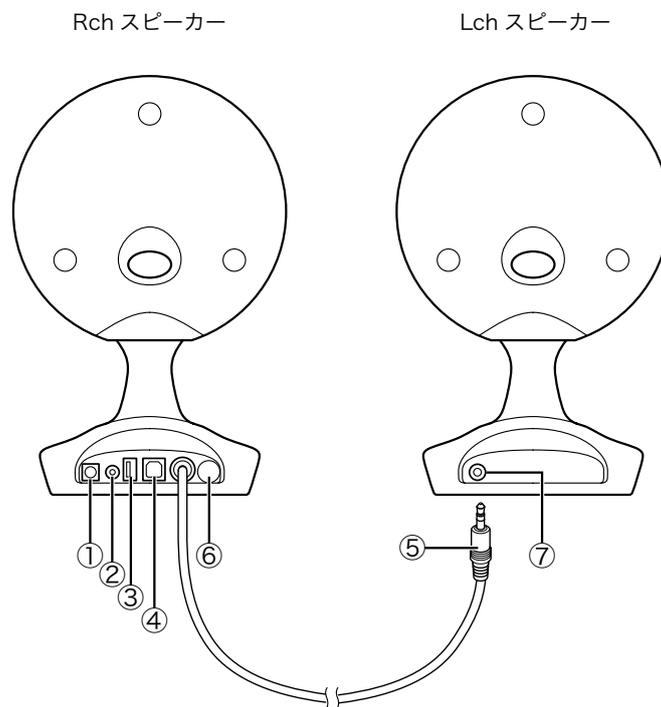
⑧ 安全上のご注意と
アフターサービスについて ×1



⑨ 保証書 ×1

万が一、開梱時に梱包物の損傷や欠品があった場合は、販売店までご連絡ください。

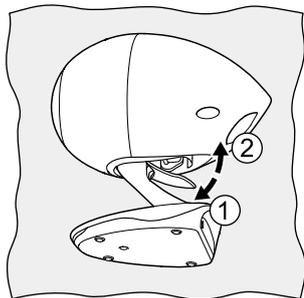
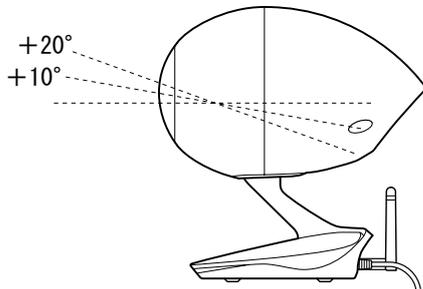
端子について



No.	端子	用途
①	電源入力端子	付属の AC アダプタを接続します。
②	AUX IN 端子 (ステレオミニ端子)	TV や CD プレーヤー等の外部機器を接続します。市販のステレオミニプラグ付きのオーディオケーブルを使用します。
③	USB 端子 (A タイプ)	iPhone, iPod, iPad を接続します。デバイスに付属の Lightning-USB ケーブルまたは 30 ピン-USB ケーブルを使用します。
④	USB 端子 (B タイプ)	Mac や Windows® PC を接続します。市販の USB A-B ケーブル (USB プリンタケーブル) を使用します。
⑤	Lch スピーカー用出力端子 (ケーブル長: 1.5m)	Lch スピーカー用入力端子に接続します。
⑥	アンテナ入力端子	付属の Wi-Fi アンテナを接続します。
⑦	Lch スピーカー用入力端子	Lch スピーカー用出力端子を接続します。

システムの準備

スピーカーの角度調整について



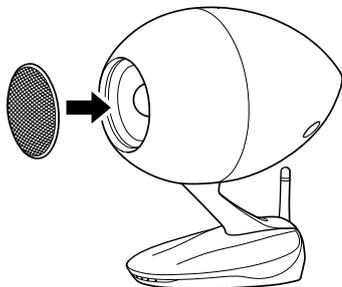
0° (水平)、10°、20° の中からお好みの角度に調整することができます。

- 1 スピーカーを横に寝かせる。

スピーカーを寝かせる際にはやわらかい布等を使用し、傷がつかないようにしてください。

- 2 レバーを図の①の方向へ動かしてロックをはずす。
- 3 スピーカーをお好みの角度に調整する。
- 4 レバーを図の②の方向に動かしてロックする。

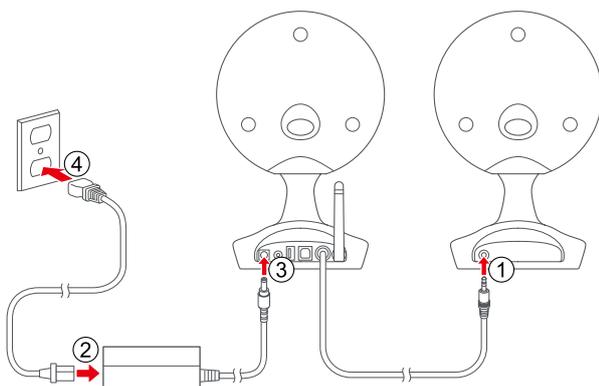
グリルの取り付けについて



グリルはスピーカーを使用しない時や、お客様のお好みにより取り付けてください。

- 1 図のようにグリルを取り付ける。

電源の接続について



本機の電源を接続するには以下の手順で操作をしてください。

- 1 Lch スピーカー用出力端子を Lch スピーカー入力端子に接続する。
- 2 付属の電源プラグと AC アダプタを接続する。
- 3 本機の電源入力端子に付属の AC アダプタを接続する。
- 4 電源プラグをご家庭のコンセントに接続する。

再生デバイスと接続方法

本機と接続できる再生デバイスと接続方法については、以下の通りです。

接続方法		接続可能な再生デバイス	ページ
Wi-Fi (ワイヤレス) で聞く	AirPlay	iPhone、iPod touch、iPad (iOS4.3.3以降)、10.2.2以降のiTunes(MacおよびWindows® PC)からの音声再生に対応しています。	9
	Android	Androidデバイス (Ver.4.0以降)からの音声再生に対応しています。 専用のAndroidアプリ (TD Remote for Android) のインストールが必要です。	12
USB (Aタイプ) 接続で聞く		iPhone、iPod、iPadからの音声再生、およびiPhone、iPodの充電に対応しています。	16
USB (Bタイプ) 接続で聞く		Mac (OS10.6以降) およびWindows® PC(XP/7/8)からの音声再生に対応しています。 Windows® PCの場合は事前に専用ドライバのインストールが必要です。 (P.17「Windows® PCの場合」)	16
AUX 接続で聞く		アナログ音声の再生に対応しています。 市販のステレオミニプラグ付きケーブルでの接続が必要です。	19

※本機に搭載されている機能はECLIPSE ホームページに記載されているiPhone,iPod touch,iPad,Android デバイスのソフトウェアバージョンおよび、iTunesのソフトウェアバージョンに基づいて開発、テストされたものです。記載されているバージョン以外のiPhone,iPod touch,iPad,Android デバイスのソフトウェアまたはiTunesを使用すると、機能の互換性がなくなる場合があります。

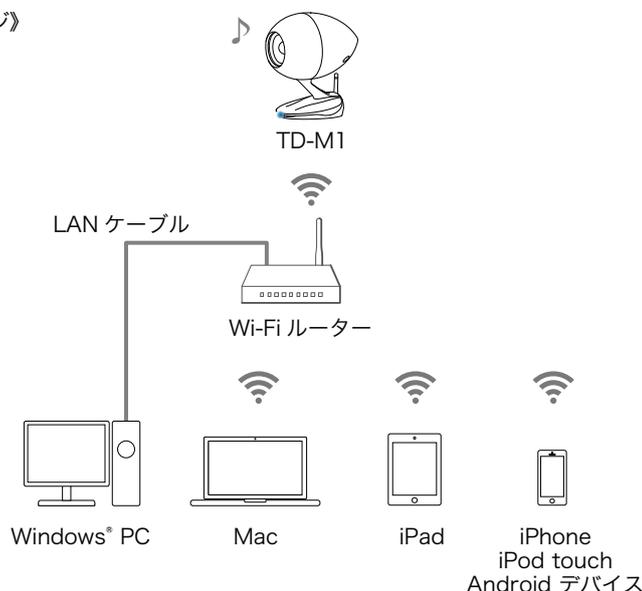
Wi-Fi (ワイヤレス) 再生について

本機は Wi-Fi を使用して、再生デバイスからワイヤレスで音楽を再生することができます。

以下の 2 つの動作モードがありますが、Wi-Fi 環境をお持ちの場合は、ルーターモードでの接続をおすすめします。

ルーターモード (推奨)

《接続イメージ》



《特徴》

- ・ Wi-Fi ルーターを経由して、本機と再生デバイスとを接続します。
- ✓ 同じローカルエリアネットワーク (LAN) 内に接続されている全ての再生デバイスから本機に接続できます。
- ✓ 初期設定 (P.9 「ルーターモードで接続する」) を行った後は、再生デバイスを Wi-Fi ルーターに接続するだけで本機に接続できます。
- ✓ 本機との通信中も、再生デバイスで Wi-Fi ルーターを通じたインターネット接続が可能です。
- ✗ 別途、Wi-Fi ルーターが必要です。
※ IEEE802.11b/g のいずれかに対応した無線 LAN ルーターが使用できます。

ダイレクトモード

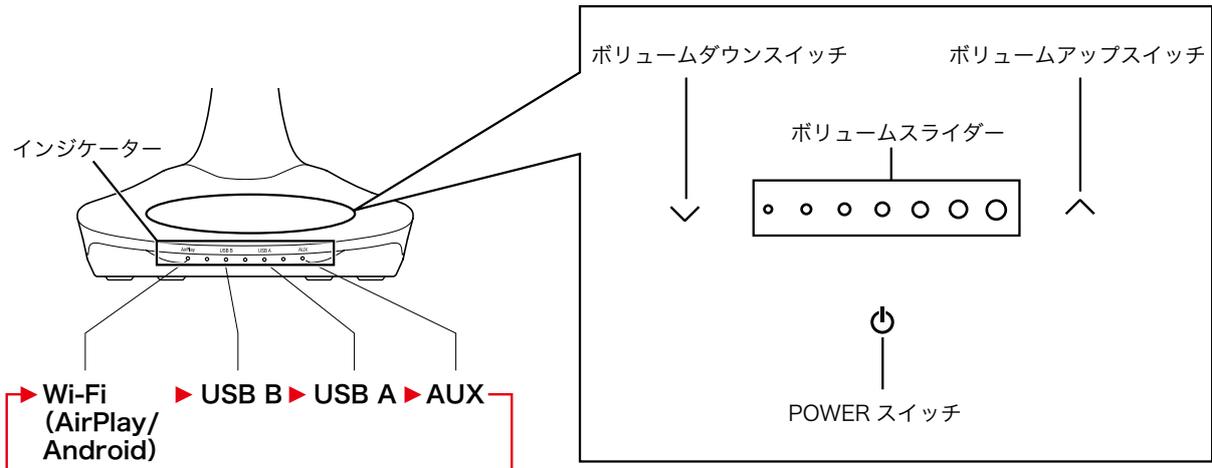
《接続イメージ》



《特徴》

- ・ 本機と再生デバイスを Wi-Fi ルーターを経由せずに直接接続します。
- ✓ Wi-Fi ルーターが不要です。
- ✗ 本機との通信中は、再生デバイスからのインターネット接続ができません。
- ✗ ダイレクトモードは、暗号化されていないため、セキュリティ上のリスクがあります。
第三者が無断で接続して無線機器から音楽の再生操作をした場合、本機が動作する可能性があります。

操作方法



インジケータ (中央) の表示

インジケータ	表示の意味
● 赤	スタンバイ
● オレンジ	ネットワークスタンバイ
● 青	電源 ON (ルーターモード)
● 緑	電源 ON (ダイレクトモード)
✧ オレンジ (点滅)	Wi-Fi 接続試行中
✧ 赤 (点滅)	Wi-Fi 接続エラー (P.9「接続する」の手順で Wi-Fi の設定をしてください。)
✧ 白 (点滅)	ソフトウェアアップデート中

電源の ON/OFF

電源を ON にする⇒ をタッチする。

スタンバイにする⇒ を 3 秒間タッチする。

ネットワークスタンバイにする⇒ を 1 秒間タッチする。

ネットワークスタンバイ

ネットワークスタンバイは Wi-Fi 通信が有効な状態です。オートパワー機能を使う際は、ネットワークスタンバイにてご使用ください。

オートスタンバイ機能

出荷時はオートスタンバイ機能が ON になっています。30 分間無操作、かつ音声入力がない場合は自動でネットワークスタンバイになります。

オートスタンバイ機能の設定は専用の iOS アプリ (TD Remote)、Android アプリ (TD Remote for Android) で変更できます。

アプリは以下よりダウンロードできます。

- ・ iOS 版 : App Store
- ・ Android 版 : Google Play ストア

オートパワー機能

本機はネットワークスタンバイの場合は、以下の条件で自動で電源が ON になります。

接続方法	オートパワー機能の動作条件	
Wi-Fi (ワイヤレス)	AirPlay	AirPlay で音楽を再生したとき
	Android	Android アプリ (TD Remote for Android) で音楽を再生したとき
USB (A タイプ)	iPhone/iPod/iPad を USB 端子 (A タイプ) に接続したとき	
USB (B タイプ)	Mac および Windows PC で音楽を再生したとき	
AUX	外部機器で音楽を再生したとき*	

*外部機器によって、オートパワー機能が動作しない場合があります。

音量調整

音量を上げる⇒  をタッチする。またはボリュームスライダーを右にスライドする。

音量を下げる⇒  をタッチする。またはボリュームスライダーを左にスライドする。

ソースの切り替え

 をタッチする。

- ・ Wi-Fi (AirPlay/Android) → USB B → USB A → AUX の順でソースを切り替える事ができます。
- ・ 選択中のソースは白色のインジケータで表示されます。

Wi-Fi (ワイヤレス) 再生の接続モードの切り替え

ルーターモードに切り替える⇒  をタッチしながら  を1秒間 (インジケータがオレンジ色に変わるまで) タッチする。インジケータがオレンジ色に点滅後、青色に変わります。

ダイレクトモードに切り替える⇒  をタッチしながら  を1秒間 (インジケータがオレンジ色に変わるまで) タッチする。インジケータがオレンジ色に点滅後、緑色に変わります。

AirPlay で聞く

接続する

AirPlay を使用して音楽をワイヤレスで再生するためには、お使いの再生デバイスと本機を Wi-Fi 経由で接続してください。接続するには、以下の手順で操作をしてください。

■ダイレクトモードで接続する

- 1 本機の電源を ON し、インジケータが緑色に点灯していることを確認する。
(P.7 「電源の ON/OFF」)

青色に点灯、または赤色に点滅している場合は、ダイレクトモードに切り替えてください。(P.8 「Wi-Fi (ワイヤレス) 再生の接続モードの切り替え」)

- 2 お使いの再生デバイスの Wi-Fi 設定画面から、「ECLIPSE TD-M1*****」に接続する。



※「*****」には、製品の識別番号が表示されます。識別番号は本体底面のラベルに印字された MAC ID の下 6 桁で確認できます。

※表示の画面は iOS のものです。

以上で接続は完了です。お使いの再生デバイスで再生してください。(P.11 「再生する」)

ダイレクトモードで接続している時は、お使いの再生デバイスからのインターネット接続はできません。

■ルーターモードで接続する

- 1 まずはお使いの再生デバイスと本機をダイレクトモードで接続する。
- 2 Web ブラウザを開き、アドレスバーに `http://192.168.1.12` を入力し、設定画面を開く。

▶ Safari (iOS デバイス)



▶ Safari (Mac)



▶ Internet explorer (Windows)



Mac または Windows® PC をお使いの場合、P.20 「設定画面 (TD-M1 Network Audio Device Settings) の開き方」の手順でも開くことができます。



- 4 「アクセスポイントスキャン」からお使いのルーターのSSIDを選択し、パスワードを入力する。最後に「適用」をクリックする。



本機のインジケータがオレンジ色に点滅後、青色に点灯します。最大1分程度かかる場合があります。

接続に失敗した場合はインジケータが赤色に点滅します。SSIDとパスワードが正しいか確認の上、再度手順①から操作してください。

- 5 お使いの再生デバイスを、ご自宅でお使いのWi-Fi ルーターに接続する。



以上で接続は完了です。お使いの再生デバイスで再生してください。(P.11「再生する」)

ルーターモードの設定は初回接続時のみ必要な手順です。2回目以降は手順⑤のみで接続ができます。

再生する

AirPlay で音楽を再生する場合、あらかじめお使いの再生デバイスと本機を Wi-Fi 経由で接続した上、以下の手順で操作をしてください。(P.9「接続する」)

■ iOS デバイスの場合

- 1 本機の電源が ON であることを確認する。
- 2 本機の  をタッチして入力ソースを Wi-Fi (AirPlay/Android) に切り替える。(P.8「ソースの切り替え」)



※ 「*****」には、製品の識別番号が表示されます。

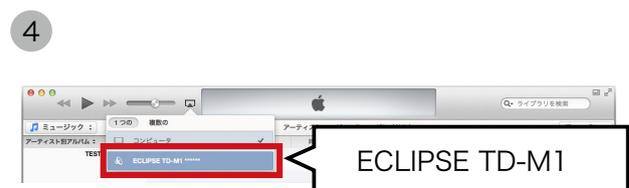
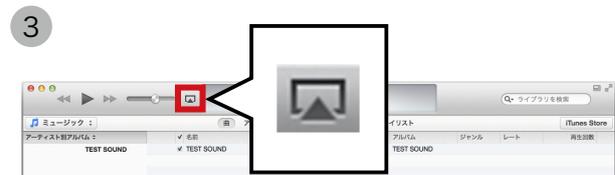
- 6 iOS デバイスを操作して音楽を再生する。



※ iOS のバージョンによって画面が異なる場合があります。

■ iTunes の場合

- 1 本機の電源が ON であることを確認する。
- 2 本機の  をタッチして入力ソースを AirPlay に切り替える。(P.8「ソースの切り替え」)



- 5 iTunes を操作して音楽を再生する。



Android デバイスで聞く

Android アプリのインストール

Android デバイスを使用して音楽をワイヤレスで再生するためには、まず専用の Android アプリをインストールしてください。

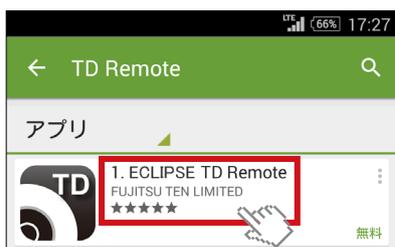
- 1 Android デバイスのホーム画面から Play ストアを起動する。



- 2 検索ウィンドウで「TD Remote」を検索する。



- 3 検索結果から TD Remote を選択し、インストールをタップする。



接続する

Android デバイスを使用して音楽をワイヤレスで再生するためには、お使いの Android デバイスと本機を Wi-Fi 経由で接続してください。接続するには、以下の手順で操作をしてください。

■ダイレクトモードで接続する

- 1 本機の電源を ON し、インジケータが緑色に点灯していることを確認する。
(P.7 「電源の ON/OFF」)

青色に点灯、または赤色に点滅している場合は、ダイレクトモードに切り替えてください。(P.8 「Wi-Fi (ワイヤレス) 再生の接続モードの切り替え」)

- 2 お使いの Android デバイスの設定画面を開く。



※ご使用の Android デバイスによってアイコンデザインが異なる場合があります。

- 3 Wi-Fi 設定から、「ECLIPSE TD-M1*****」に接続する。



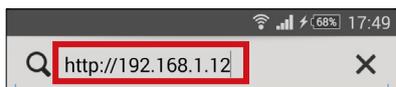
※「*****」には、製品の識別番号が表示されます。識別番号は本体底面のラベルに印字された MAC ID の下 6 桁で確認できます。

以上で接続は完了です。お使いの Android デバイスで再生してください。(P.14 「再生する」)

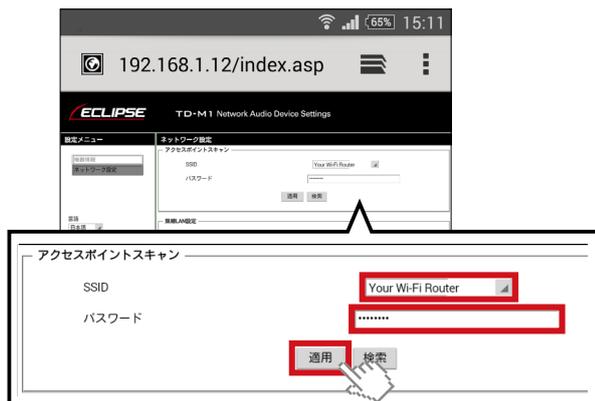
ダイレクトモードで接続している時は、お使いの Android デバイスからのインターネット接続ができません。

■ルーターモードで接続する

- 1 まずはお使いの Android デバイスと本機をダイレクトモードで接続する。(P.12「ダイレクトモードで接続する」)
- 2 Web ブラウザを開き、アドレスバーに `http://192.168.1.12` を入力し、設定画面を開く。



- 3 「機器情報」から「ネットワーク設定」を選択する。
- 4 「アクセスポイントスキャン」からお使いのルーターの SSID を選択し、パスワードを入力する。最後に「適用」をクリックする。



本機のインジケータがオレンジ色に点滅後、青色に点灯します。最大 1 分程度かかる場合があります。
接続に失敗した場合はインジケータが赤色に点滅します。SSID とパスワードが正しいか確認の上、再度手順①から操作してください。

- 5 お使いの Android デバイスの設定画面を開く。



※ご使用の Android デバイスによってアイコンデザインが異なる場合があります。

- 6 Wi-Fi 設定から、ご自宅でお使いの Wi-Fi ルーターに接続する。



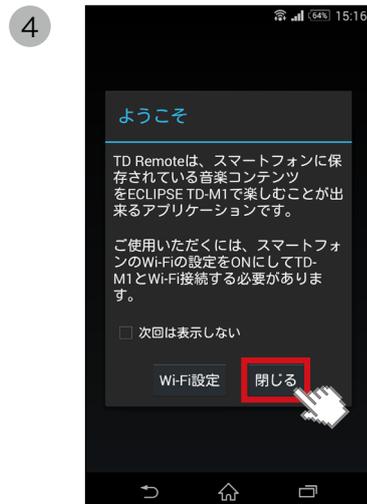
以上で接続は完了です。お使いの Android デバイスで再生してください。(P.14「再生する」)

ルーターモードの設定は初回接続時のみ必要な手順です。2 回目以降は手順⑤のみで接続ができます。

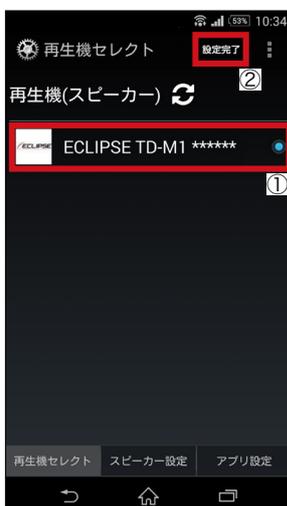
再生する

Android デバイスで音楽を再生する場合、あらかじめお使いの Android デバイスと本機を Wi-Fi 経由で接続した上、以下の手順で操作をしてください。(P.12「接続する」)

- 1 本機の電源が ON であることを確認する。
- 2 本機の  をタッチして入力ソースを Wi-Fi (AirPlay/Android) に切り替える。(P.8「ソースの切り替え」)
- 3 Android アプリ (TD Remote for Android) を起動する。

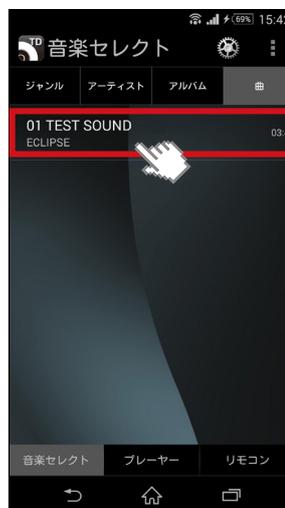


- 5 再生機のリストから「ECLIPSE TD-M1 *****」を選択し、「設定完了」をタップする。



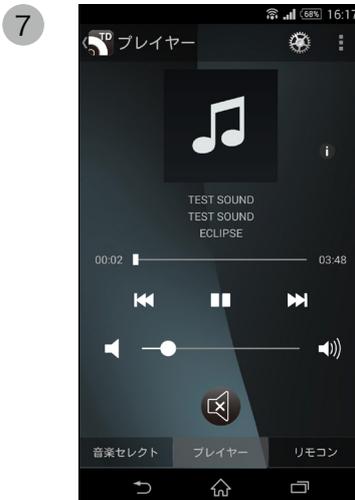
※「*****」には、製品の識別番号が表示されます。

- 6 音楽セレクト画面で、再生する音楽を選択する。



ジャンル、アーティスト、アルバムから音楽の絞り込みができます。

曲名を選択するとプレイヤー画面に切り替わり、音楽が再生されます。



※ご利用の環境によって画面が異なる場合があります。

プレイヤー画面では「再生/一時停止」、「次の曲」、「前の曲」、「音量調整」、「消音」の操作ができます。

その他のアプリ操作方法については ECLIPSE の Web サイトをご覧ください。

※アプリ右上のメニューボタン () → 「ヘルプ」から Web サイトをご覧ください。

■再生可能フォーマット

本機では Android デバイスから、以下のオーディオフォーマットが再生できます。ただし、以下のオーディオフォーマットでも再生できない場合があります。

フォーマット	拡張子	ストリーム	パラメータ	値
WAV	wav	LPCM	サンプリング周波数	32kHz ~ 48kHz
			量子化ビット数	16bit, 24bit
			チャンネル数	2ch
FLAC	flac	FLAC	サンプリング周波数	32kHz ~ 48kHz
			量子化ビット数	16bit, 24bit
			チャンネル数	2ch
MP3	mp3	MPEG-1/2 Audio Layer-3	サンプリング周波数	32kHz ~ 48kHz
			量子化ビット数	16bit
			チャンネル数	2ch
			ビットレート	8kbps ~ 320kbps
			対応ビットレート方式	VBR / CBR
WMA	wma	WMA2/7/8/9/10	サンプリング周波数	32kHz ~ 48kHz
			量子化ビット数	16bit
			チャンネル数	2ch
			ビットレート	5kbps ~ 320kbps
			対応ビットレート方式	VBR / CBR
AAC	m4a aac 3gp 3g2	MPEG-4 AAC MPEG-4 HE AAC (AAC Plus v1/2)	サンプリング周波数	32kHz ~ 48kHz
			量子化ビット数	16bit
			チャンネル数	2ch
			ビットレート	16kbps ~ 320kbps
			対応ビットレート方式	VBR / CBR

USB/AUX で聞く

USB (A タイプ) の接続・再生

USB (A タイプ) で音楽を再生する場合、以下の手順で操作をしてください。

- 1 本機の電源が ON であることを確認し、iPhone/iPod/iPad を USB 端子 (A タイプ) へ接続する。

ネットワークスタンバイ時に iPhone/iPod/iPad を USB 端子 (A タイプ) に接続すると、自動で電源が ON になります。

- 2 本機の  をタッチして入力ソースを USB A に切り替える。(P.8 「ソースの切り替え」)
- 3 iPhone/iPod/iPad を操作して音楽を再生する。

USB (B タイプ) の接続・再生

USB (B タイプ) で音楽を再生するためには、Mac/Windows® PC の設定が必要です。また Windows® PC では、USB を接続する前に専用の USB オーディオドライバのインストールが必要です。

■再生可能フォーマット

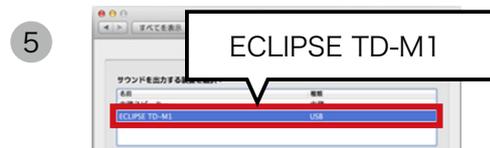
本機では USB (B タイプ) の接続で、以下のオーディオフォーマットが再生できます。

フォーマット	パラメータ	値
WAV/FLAC/MP3 などのオーディオ フォーマット※	サンプリング 周波数	44.1kHz/48kHz/ 88.2kHz/96kHz/ 176.4kHz/192kHz
	量子化ビット数	16bit/24bit/32bit
	チャンネル数	2ch

※再生できるフォーマットは、Mac/Windows PC でお使いの音楽再生ソフトに依存します。詳細はお使いの音楽再生ソフトの仕様をご確認ください。

■ Mac の場合

- 1 本機の電源が ON であることを確認し、Mac を USB 端子 (B タイプ) へ接続する。
- 2 本機の  をタッチして、入力ソースを USB B に切り替える。(P.8 「ソースの切り替え」)

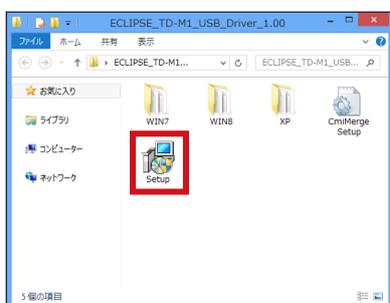


- 6 音楽再生ソフト (iTunes 等) を操作して音楽を再生する。

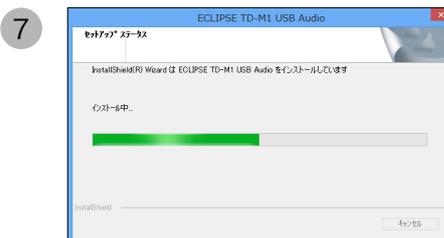
■ Windows® PC の場合

Windows® PC をお使いの場合、まずはじめに、ECLIPSE の Web サイトから USB オーディオドライバをダウンロードしてください。

- 1 <http://www.eclipse-td.com> にアクセスし、「サポート」ページから USB オーディオドライバをダウンロードする。
- 2 ダウンロードしたファイル (ZIP 形式) を解凍する。
- 3 解凍したフォルダを開き、「Setup.exe」を実行する。



- 6 以下の画面が表示されたら、Windows PC を本機の USB 端子 (B タイプ) へ接続し、「OK」をクリックする。



- 9 再起動する。

以上でドライバのインストールは完了です。

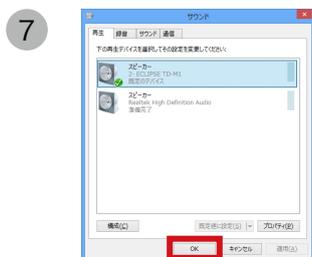
次に、お使いの OS をご確認の上、設定をしてください。

- ・ Windows 7, Windows 8 の場合 (→ P.18)
- ・ Windows XP の場合 (→ P.18)

▶ Windows® 7, Windows® 8

※表示の画面は Windows® 8 のものです。

- 1 本機の電源が ON であることを確認し、Windows® PC を USB 端子 (B タイプ) へ接続する。
- 2 本機の  をタッチして、入力ソースを USB B に切り替える。(P.8 「ソースの切り替え」)
- 3 コントロールパネルを開く。



- 8 音楽再生ソフト (Windows Media® Player 等) を操作して音楽を再生する。

▶ Windows® XP

- 1 本機の電源が ON であることを確認し、Windows® PC を USB 端子 (B タイプ) へ接続する。
- 2 本機の  をタッチして、入力ソースを USB B に切り替える。(P.8 「ソースの切り替え」)
- 3 コントロールパネルを開く。



- 6 音楽再生ソフト (Windows Media® Player 等) を操作して音楽を再生する。

PC 側の USB のポートを変更する場合は、ドライバの再インストールが必要になります。

AUX の接続・再生

AUX で音楽を再生するためには、以下の手順で操作をしてください。

- 1 本機の電源が ON であることを確認し、外部機器の音声出力ケーブルを AUX IN 端子に接続する。
- 2 本機の  をタッチして入力ソースを AUX に切り替える。(P.8 「ソースの切り替え」)
- 3 外部機器を操作して音楽を再生する。

オートスタンバイ時は外部機器のプレーヤーを再生すると、オートパワー ON になります。

設定画面 (TD-M1 Network Audio Device Settings) の開き方

次の場合は、設定画面 (TD-M1 Network Audio Device Settings) から設定をします。

- ・ネットワーク上で表示される本機の名称を変更する時
- ・詳細なネットワーク設定をする時
- ・ソフトウェアをアップデートする時 (Mac または Windows® PC が必要です。)

設定画面を開くには、あらかじめお使いの再生デバイスと本機を Wi-Fi 経由で接続してください。(P.9 「接続する」)

■ Mac で Safari ブラウザを使う場合

※表示の画面は Safari 6 のものです。Safari のバージョンによって Bonjour の開き方は異なります。詳しくは ECLIPSE の Web サイト (<http://www.eclipse-td.com>) にアクセスし、「サポートページ」→「FAQ」をご覧ください。

- 1 
- 2 
- 3 

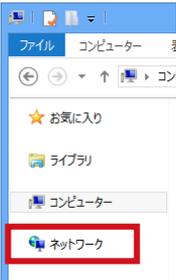
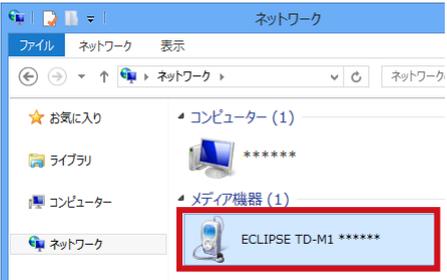
※ 「*****」には、製品の識別番号が表示されます。

- 4 TD-M1 Network Audio Device Settings 画面が表示されます。

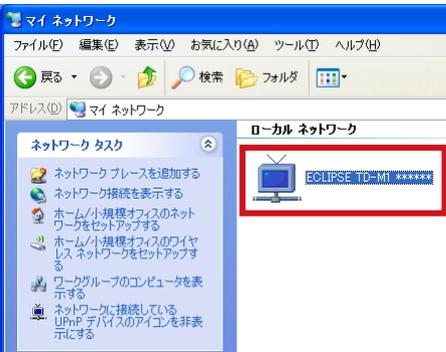
ブックマークに「Bonjour」が見つからない場合は、メニューから「Safari」→「環境設定」→「詳細」を選択し、「お気に入りバーに Bonjour を含める」にチェックをしてください。お気に入りバーに「Bonjour」が追加されます。

■ Windows® 7, Windows® 8 のネットワークを使う場合

※表示の画面は Windows® 8 のものです。

- 1 
- 2 
- 3 
- 4 TD-M1 Network Audio Device Settings 画面が表示されます。

■ Windows® XP のマイネットワークを使う場合

- 1 
- 2 
- 3 
- 4 
- 5 TD-M1 Network Audio Device Settings 画面が表示されます。

■ iOS デバイス /Android デバイスを使う場合

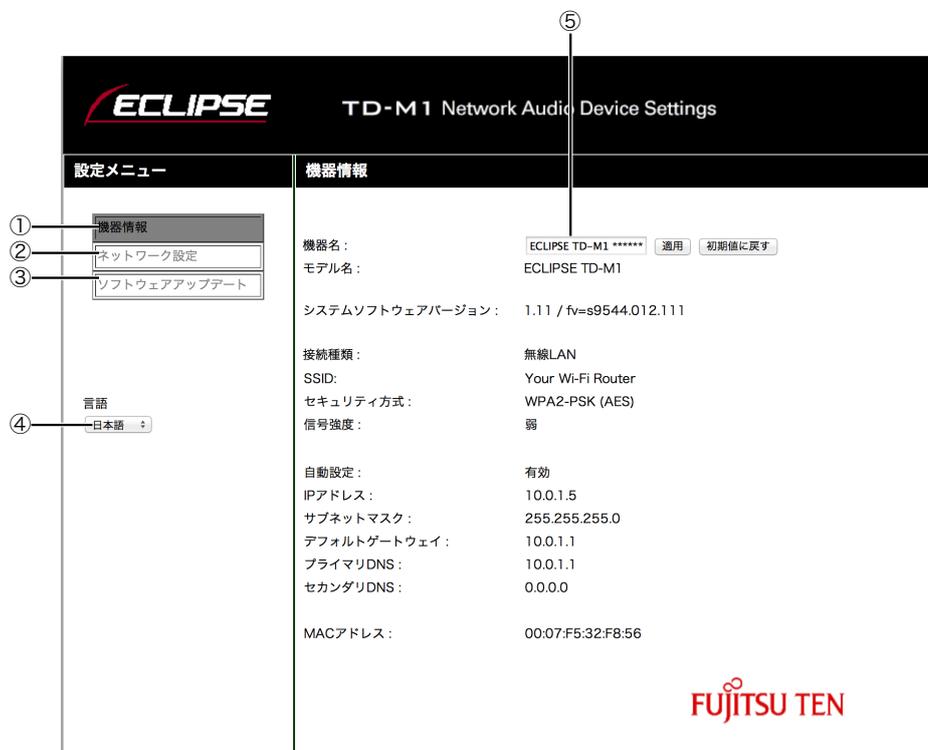
iOS デバイス /Android デバイスをルーターモードで接続している場合、iOS デバイス /Android デバイスから設定画面を開くことはできません。ダイレクトモードで接続してから次の操作をしてください。(P.9「接続する」)

- 1 お使いの iOS デバイス /Android デバイスと本機をダイレクトモードで接続する。
- 2 Web ブラウザを開き、アドレスバーに `http://192.168.1.12` を入力し、設定画面を開く。

iOS デバイス /Android デバイスで設定画面を開いた場合、ソフトウェアアップデートはできません。
ソフトウェアアップデートをする場合は、本機をルーターモードで接続し (P.9「接続する」)、Mac または Windows® PC を使用してください。

ネットワークの設定の確認・変更

▶ 機器情報画面

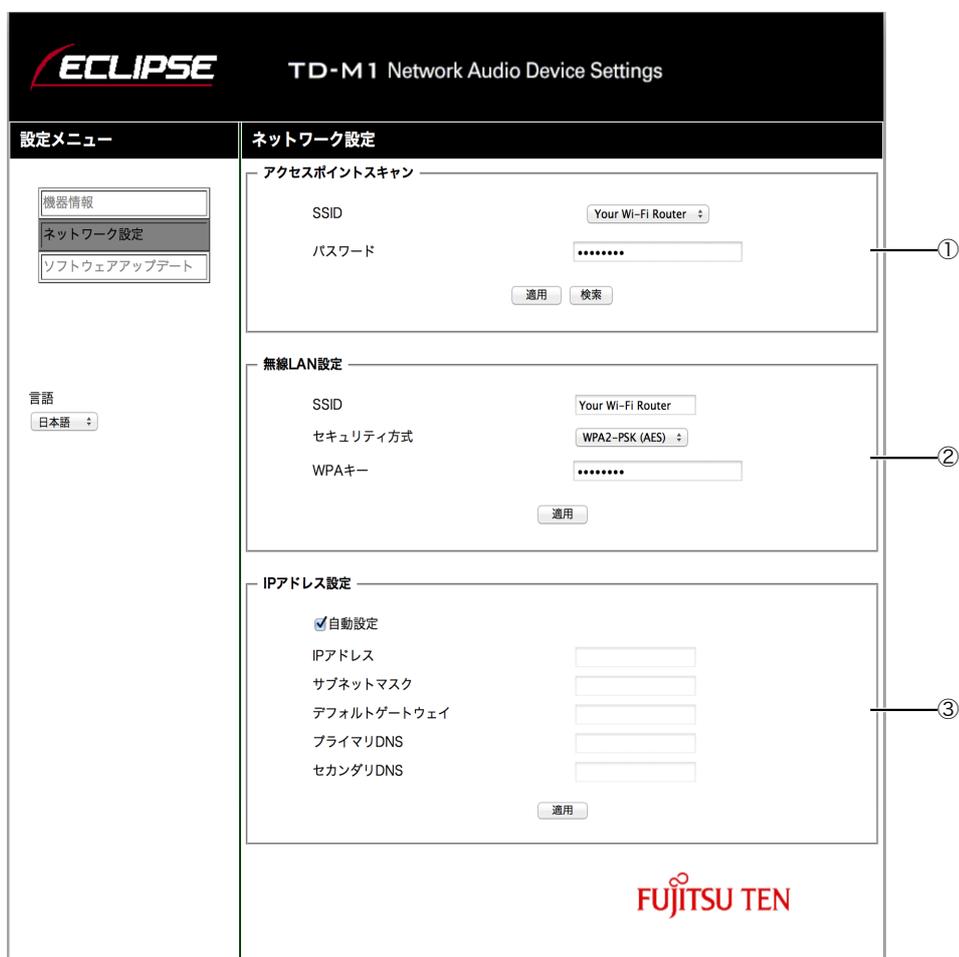


※画面上の設定はご利用の環境によって異なります。

No.	項目	詳細
①	機器情報	本機の詳細な情報を確認できます。
②	ネットワーク設定	ネットワーク設定を変更できます。
③	ソフトウェアアップデート	ソフトウェアをアップデートできます。*
④	言語	言語を選択できます。
⑤	機器名	ネットワーク上で表示される本機の名称を変更できます。

※ ルーターモード時のみ表示されます。

▶ ネットワーク設定画面



No.	項目	詳細
①	アクセスポイントスキャン	接続可能なアクセスポイントが自動的に検索されます。SSID を選択し暗号化キーを入力してください。
②	無線 LAN 設定	手で SSID 及び暗号化方式を選択できます。Wi-Fi ルーターがステルス設定の場合などに使用します。
③	IP アドレス設定	IP アドレスの手動設定ができます。通常は自動設定にチェックをしてください。固定 IP アドレスを使用する場合は「自動設定」のチェックをはずし、各項目を入力してください。設定を変更した後は「適用」をクリックしてください。

ソフトウェアのアップデート

本機のソフトウェアは不定期に更新される場合があります。ソフトウェアをアップデートするには、まず ECLIPSE の Web サイトからアップデートファイルをダウンロードしてください。

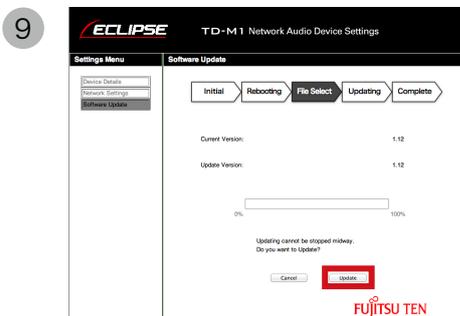
ソフトウェアアップデートをする場合は、本機をルーターモードで接続し (P.9 「接続する」)、Mac または Windows® PC を使用してください。

アップデート中は本機の電源を切らないでください。

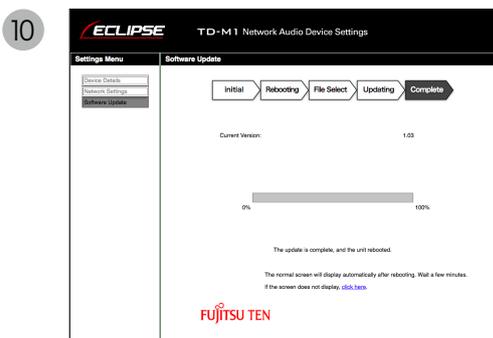
- 1 http://www.eclipse-td.com にアクセスし、「サポート」ページからアップデートファイルをダウンロードする。
- 2 ダウンロードしたファイル (ZIP 形式) を解凍する。
- 3 TD-M1 Network Audio Device Settings 画面を開く。(P.20 「設定画面 (TD-M1 Network Audio Device Settings) の開き方」)



※ダイレクトモード時は表示されません。



「Update」をクリックすると、アップデートが開始されます。本機の電源を切らずにそのまましばらくお待ちください。アップデートは最大で 10 分程度かかる場合があります。



アップデートが完了すると、本機は自動的にスタンバイ (インジケータが赤色に点灯) に切り替わります。

以上でソフトウェアアップデートは完了です。

リセット方法

リセットすると、すべての設定が消去されます。

- 1 電源が ON であることを確認する。
- 2  をタッチしながら  と  を同時に 3 秒間タッチする。

リセット後、本機はスタンバイ（インジケーターが赤色に点灯）になります。

お手入れ方法

お手入れする前には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

この製品の汚れは、やわらかい布で軽く拭き取ってください。

汚れがひどいときは、水にひたした布をよくしぼって拭き取り、乾いた布で仕上げてください。

この製品を、ベンジンやシンナー系の液体で拭かないでください。

キャビネット表面を傷める原因となります。

トラブルシューティング

システムが正常に動作しないなど、製品の使い方で困った時は ECLIPSE の Web サイト (<http://www.eclipse-td.com>) にアクセスし、「サポート」ページをご覧ください。

商標

AirPlay, Bonjour, iPad, iPhone, iPod, iPod touch, iTunes, Mac, Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

Windows®, Windows Media® は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Wi-Fi® は Wi-Fi Alliance の登録商標です。

Android、Google Play および Google Play ロゴは、Google Inc. の商標または登録商標です。

仕様

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

▶ 本体

スピーカーユニット	8cm コーン型フルレンジ
方式	パスレフ・ボックス
再生周波数	70Hz ~ 30kHz
定格出力	20W(T.H.D : 1%) ※片チャンネル駆動時
最大出力	25W(T.H.D : 10%) ※片チャンネル駆動時
高調波歪率	0.08%(10W 出力時、1kHz)
S/N 比	90dB 以上
分離度	60dB 以上
入力	Wi-Fi / USB B(PC/Mac 用) / USB A(iPhone/iPod/iPad 用) / アナログ (3.5mm ステレオミニ)
入力感度	950mVrms(20W 出力時)
入力インピーダンス	10k Ω
消費電力	10W
待機電力 (ネットワークスタンバイ時)	3.7W
待機電力 (スタンバイ時)	0.5W 以下
外形寸法 (mm) ※スピーカー単品	W155xD219xH242
質量 (ペア)	約 5.3kg

▶ AC アダプタ

入力電圧	100V ~ 240V(50Hz/60Hz)
出力電圧	20V
出力電流	3.6A
外形寸法 (mm)	W132xD54xH31
質量	約 0.4kg

ライセンス

▶ FLAC Decoder

Copyright (C) 2000,2001,2002,2003,2004,2005,2006,2007 Josh Coalson

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

▶ Ogg/Vorbis Decoder

Copyright (c) 2002, Xiph.org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.